



「ビッグデータとプライバシー」

2017年9月16日（土）14:30～16:30（開場14:00）

会場：大阪弁護士会館 2階会議室 定員：150名

インターネット、スマートフォン・携帯電話は、今や、私たちの生活にとって、なくてはならないものになりました。しかし、私たちがこれらを利用するなかで、Google・Amazon・Appleなどの企業が、私たちの移動履歴や商品購入履歴など、多くの情報を取得しています。

移動履歴や商品購入履歴のなかには、政治団体や政党への移動履歴を通じて政治的思想信条が、神社仏閣などの宗教施設への移動履歴や宗教に関する文献の購入を通じて宗教的思想信条が、医療機関への移動履歴や医薬品の購入履歴を通じて疾患が明らかになるなど、秘匿性の高いプライバシー情報も少なくありません。

一方で、個人情報の膨大な集積（ビッグデータ）の利活用により、新たなビジネス展開が可能になるとの見解も有力になりました。

このような問題に対応するため、個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）が2015年に改正され、2017年5月30日より施行されました。改正後の個人情報保護法では、特定の個人を識別することができないように個人情報を加工して得られる個人に関する情報であって、当該個人情報を復元することができないようにしたものを「匿名加工情報」と定義し、この「匿名加工情報」については、本人の同意なく、目的外利用・第三者提供を可能として、ビッグデータの利活用を図っています。

しかし従来、企業は、捜査機関から個人情報の提供を要請された場合、それが任意の要請であっても、容易に捜査機関に個人情報を提供してきました。この運用については、改正後の個人情報保護法でも、抜本的な改正はなされていません。また、正規の第三者提供手続によらずに、企業から顧客の個人情報が漏洩した場合、顧客に回復困難な損害を与える危険性もあります。

このように、個人情報保護法が改正されても、なお、いかにして個人のプライバシー保護を図るかは、重要な問題です。

本講座では、憲法学のなかでも、特に情報法分野をご専門とされ、この分野における著作や政府機関における社会的活動も多数にのぼる、宍戸常寿・東京大学大学院法学政治学研究科教授に、ビッグデータ時代におけるプライバシー保護はいかにあるべきかをご講演いただきます。

講師：宍戸 常寿 氏（東京大学大学院法学政治学研究科教授（憲法、情報法））

東京大学法学部卒業後、東京大学大学院法学政治学研究科助手、東京都立大学法学部助教授、首都大学東京社会科学部法曹養成専攻助教授、一橋大学大学院法学研究科准教授などを経て現職。

申込方法

大阪弁護士会ホームページ、またはFAXにてお申込みください。
http://www.osakaben.or.jp/event/2017/2017_0916.php



QRコードでもアクセスできます！

大阪弁護士会

検索



●お問い合わせ…大阪弁護士会 委員会部 司法課（担当：岡田）

参加申込書 FAX：06-6364-7477

ふりがな	電話番号
氏名	_____
	FAX

メールアドレス	

参加人数	このイベントをどこで知りましたか

名	
弁護士の方は登録番号	

※記載いただいた個人情報は、参加確認の目的以外には使用いたしません。

一時保育サービスを実施します（要予約・無料）

対象： 原則、首がすわっている乳児～未就学児
 時間： 行事開始15分前から終了15分後まで
 連絡期限： 行事開催日の10日前まで
 連絡先： 大阪弁護士会 委員会部司法課 担当事務局：岡田
 電話：06-6364-1681
 備考： お電話でお連絡をいただいた後に申込書を送付します。
 申込書の提出をもって申込みが完了します。
 定員に達し次第、申込受付を終了しますので、ご了承ください。
 （講座の参加申込とは別に、お申込みが必要です。）

「ビッグデータとプライバシー」は

研修義務化対象講座です（2単位）

※大阪弁護士会の所属弁護士がこの学習会に出席した場合、研修単位を取得できます。
 ・大阪弁護士会の図書カードをご持参ください。
 ・入室時、退室時の2回、出席登録が必要です。
 ・開始15分以降の入場、研修終了予定時刻前の退場（研修が終了予定時刻前に終了した場合を除く）は、受講としてカウントされませんのでご注意ください。